

FD News letter

No.1
2018年

CONTENTS

1. 2017年度第2回新任者研修会
2. 2017年度大学院FD
3. 2017年度学部FDセミナー
4. LMS/WebClass実践活用報告会2018

1. 2017年度第2回新任者研修会

2018年3月1日(木)、二子玉川夢キャンパスにて2017年度第2回新任者研修会(参加者17名)を開催しました。着任して1年が経過し、これまでの振り返りが行われました。その中で、「アクティブラーニング(AL)は、演習には導入しやすいが、講義科目にどのように取り入れるかが難しかった」、「プログラミングの演習で、学生同士で教え合うように工夫した」、「プロジェクトでの講義をやめて穴埋めプリントを活用することで、講義中の学生の集中力が上がった」、「200人規模の大講義でALを導入するのは難しい」、「入学前ガイダンスにはグループワークを活用して、入学前の生徒に横のつながりをもたせることができた」などの意見・感想が挙げられました。さらに、ALを導入するのが目的ではなく、講義の学習到達目標を考えるのが先であり、ALはあくまでもそのための手段という位置づけで考えるべきとの意見も出されました。

続いて、次年度の新任者へのアドバイスが議論されました。「講義で身に付けさせるべき最低限の基準は満たしつつ、授業は自由に工夫してほしい」、「一人ひとりの学生をよく見て、学生の現状を把握すること」、「FD・SDの研修に参加して、教育方法についての最新情報を得るようにすること」、「新任者向けの研修を早い段階で開催するようにしてほしい」、「大学全体として目指すところを教職員全体で共有する機会を持つようにしてほしい」などのアドバイスや要望が出されました。これを受け、2018年度の第1回新任者研修会は4月に開催いたしました。その報告は次回のFDレターで取り上げます。



2. 大学院FD

2018年3月5日(月)、世田谷キャンパス3号館メモリアルホールAにて、「大学院新組織発展のための議論」と題して大学院FDが実施されました。

工学研究科長より、「工学研究科改革の3年間を振り返る」の内容について説明があり、参加者は「実施済み」、「未達成」の項目から組織改革の現状を再認識致しました。その後、FD担当委員より、「進学者数の推移データ」についての説明が行われました。推薦枠を拡大して内部進学者の増加を試みたが、実質の進学者増につながっていない実態が再認識されました。

学生の学修・研究に対するモチベーション向上に関しては、教員は教育を主軸として研究の意義や楽しさ

を伝える、学会発表や共同研究など外部との接触を通じて刺激を与え、責任感や自身の研究の意義を考えさせるなどの意見が出されました。

大学院が抱えている課題としては、学生数が増加した際に現状の研究施設や教育制度では十分な教育を施せない心配がある、優秀な学生ほど他大の大学院に進学してしまうなどの意見が出されました。

最後に、大学院講義での独自の工夫や大学院発展に向けた意見がアンケートされました。独自工夫においては、ALの導入や英語教材の利用、外部講師の招聘、授業の2コマ連続開講などの回答がありました。大学院発展に向けた自由意見では、博士進学率の向上、企業との共同研究・学外との連携推進、研究設備の充実化など、非常に多くの意見が出されました。



3. 学部FDセミナー

2018年3月7日(水)、世田谷キャンパス2号館21B教室にて、伊藤通子先生(教育開発機構)を迎えて「ALに役立つ理論とスキルの紹介(+知っていると楽にできるコトの体験)」と題したセミナーが開催されました。38名の参加がありました。

「私が提供できそうなお役立ちメニュー」では、伊藤先生より、これまでの高等教育の変化の流れや、デンマークをはじめとする海外の教育方針の紹介がありました。さらに、小中学校・高校での勉強の仕方と大学・社会で求められる学び方の違いや教育カリキュラム改訂の際の注意点、評価方法・授業目的の見直しの重要性などの紹介がありました。

「アクティビティ体験(理論と解説)」では、2人1組のAL小体験・グループワークが行われました。実

験中にガラス器具を破損してしまった学生と教員の想定問答などが取り上げられました。

最後に「振り返り」において、総括がなされました。本セミナーは非常に好評で、伊藤先生によるセミナーのシリーズ化を望む声もありました。

4. LMS/WebClass 実践活用報告会 2018

2018年3月30日(金)、世田谷キャンパス1号館1BJ教室にて、LMS/WebClass 実践活用報告会 2018が開催されました。以下の6つの活用事例の紹介がありました。

- 1) 「物理学の基礎学力向上のための WebClass によるテスト出題例」(共通教育部 自然科学系物理学教育部門 西村太樹)
- 2) 「WebClass のアンケート機能を使った peer-reflection と self-reflection の試み」(共通教育部 外国語共通教育センター 吉田国子)
- 3) 「アクティブラーニングツールとしての WebClass 活用事例」(都市生活学部 都市生活学科 林和眞)
- 4) 「WebClass のテスト機能を利用した採点自動化の試み」(環境学部 環境マネジメント学科 フィッツギボンズ雄亮)
- 5) 「授業収録システムの利用実践例と今後の課題」(共通教育部 自然科学系情報教育部門 安井浩之、総合情報システム部 ICT 推進課 西村大吾)
- 6) 「授業支援ボックス利用報告」(総合情報システム部 ICT 推進課 靱江哲生、知識工学部 情報科学科 向井信彦)

